今帰仁村子ども子育て支援事業計画

○第２回子ども会議　補足説明

|  |  |
| --- | --- |
| 委員からの意見 | 補足説明 |
| 施設ありき、予算ありきの感がする。幼稚園が今後統合されると、地域の歴史や文化の継承が途絶え、中心集落に一極集中してしまうのではないか。 | ・幼稚園は統合されるが、保育所は各地に残し、新たな法人認可園の建設を誘導する。したがって、地域での就学前の教育・保育環境は一定確保される。そうした保育所と小学校の連携をこれまで以上に進めていくことで、保育所から小学校へのスムーズな移行がなされるものと思われる。さらに、天底では、小学校敷地内の教員住宅跡に法人認可保育所の建設を予定していることから、保育所と小学校との連携は取りやすくなるものと思う。  ・また、施設ありき、予算ありきで村の教育保育がどうあるべきかという議論が現時点では十分ではない。今後の計画理念等の中で、その辺（例．「地域での教育保育環境を一定程度確保していく」等）を示していきたい。 |
| 平成31年度の今帰仁保育所について、０歳から入所した場合、４歳から違う保育所または幼稚園に行くことになるようだが、この年齢で保育環境が変わってしまうのは如何なものか。 | ・今帰仁保育所に入所した園児の４歳以降の教育保育については、その後の小学校入学を想定した上で、何れかの小学校区の保育所もしくは「（新）なきじん　幼稚園」の利用を考えてはどうかと思う。そうすることで、４、５歳の時に利用した保育所等から同じ校区内の小学校への入学がスムーズにいくと思う。  （対案）  ・今後、今帰仁保育所での４、５歳児対応を検討したい。但し、今帰仁保育所で４、５歳児を受け止めたとしても、結局、小学校入学時に環境が変わる児童が出てくる状況が一定程度みられる。したがって、教育保育環境の変化をいつの段階で受け止めるのかということになるのではないかと思う。 |